

# 杏林大学大学院保健学研究科

## 平成27年度秋学期 在学生による研究報告会プログラム

12月17日(木) 8F大会議室

発表時間:修士は報告10分、質疑7分(計17分)／博士は発表15分、質疑10分(計25分)

時間	演者	分野	指導教員	題名	座長	
大瀧研究科長 開会の辞						
9:00-9:25	保博2S	小濱 優子	保健学・救急救命学	照屋教授	夜間勤務を行う看護師の健康維持・増進に関する研究	川村教授
9:25-9:42	看修2S	榎本 晃子	実践看護科学	大木教授	被災高齢者の生活再建過程におけるレジリエンスの促進要因	川村教授
9:42-9:59	保修2S	大屋 千鶴	保健学	太田教授	地域在住高齢者のソーシャルサポートと運動の開始、継続、停止(中断)の関連について	大木教授
休憩						
10:10-10:35	保博2S	長島 泉	リハビリテーション科学	下田教授	手の心的回転課題を用いて評価した一人称的運動イメージ能力の加齢による変化	八並教授
10:35-11:00	保博4S	鈴木 優喜子	リハビリテーション科学	下田教授	AMPSはMMSEやADL・IADL量的評価で捉えられない認知症者の特徴を捉えることができるのか	八並教授
11:00-11:25	保博4S	渋井 実	リハビリテーション科学	下田教授	統合失調症患者における手の心的回転課題遂行能力と精神症状・認知機能・社会生活能力との関連	八並教授
11:25-11:50	保博4S	原田 裕輔	リハビリテーション科学	下田教授	脳卒中片麻痺患者における手の心的回転課題遂行能力の検討 - 損傷半球により反応時間と正答率に差異はあるか -	八並教授
昼休み						
13:00-13:25	保博2S	玉木 徹	リハビリテーション科学	丹羽教授	糖尿病に起因する筋の機能障害と組織学的変化	八並教授
13:25-13:50	保博2S	大城 直美	リハビリテーション科学	丹羽教授	慢性期 I 型糖尿病モデルラットにおける 腹壁筋を支配する運動ニューロンの形態変化について	八並教授
13:50-14:07	保修2S	武藤 直弥	リハビリテーション科学	丹羽教授	糖尿病ラットにおける前庭神経核の形態変化について	八並教授
休憩						
14:15-14:32	保修2S	小嶋 宏紀	臨床工学	嶋津教授	電気メス放電時のメス先接触状態と電界強度変化の測定解析	四倉教授
14:32-14:57	保博4S	水島 岩徳	臨床工学	嶋津教授	NPPV(非侵襲的陽圧換気療法)における気流動態の解析	四倉教授
14:57-15:22	保博4S	田村 陽介	臨床検査・生命科学	川澄教授	ab initio計算によるバニロイドの立体配座と反応性に関する研究	岡田教授

三鷹中継